



5月7日10時～・櫻のホール
金平茂紀・TBSキャスター講演とピースパレード

ふるさと納税は地方税制をゆがめる 自治体間競争に野田市もおつおつと

新社会党の全国大会でふるさと納税制度の弊害について東京の市議会議員から質問が出された。都内の市区からの住民税の流出が巨額に上っていること、その多くが返礼品目的の高所得者の節税対策になっているのではとの指摘だった。

確かに地方の財政が厳しいのは言うまでもないが、出身地でなくても寄付できる制度は上記の指摘がされることとなる。

15年度全国一は都城市

手軽になった15年度のふるさと納税額は、総務省調査で前年度比4.3倍の約1653億円、件数は3.8倍の726万件にのぼっている。受け入れ額全国一は、ブランドと

なっている宮崎牛と焼酎・黒霧島の返礼品を持つ都城市で、受け入れ額は42億3100万円、受け入れ件数は28万8000件を超えている。

しかし、高額な寄付は多くはなく、72%が1万円以下で、2万円以下を含

めると9割弱、リピーターが4割を占めるという。そうすると所得が低迷する庶民のささやかな生活の知恵かもしれないが、多数の庶民が動く税制をも動かす。

財政のバランスは地方交付税で

ただ、地方と都市の財政調整は



しょうゆと調味料、お惣菜セットの返礼品

本来、地方交付税で行うべきものであり、その財源を増やすのが政府の務め。ふるさと納税制度はそれをゆがめているのは間違いない。前市長の指摘通りだ。

野田市の返礼品も増加

しかし、制度があり、政府があてにならない中では自治体は返礼品競争に陥らざるを得ない。野田市も返礼品を増やしつつある。現在市外からの寄付についてはみどりのふるさと基金が、学校施設整備等基金への寄附を選択できる。

導入当初の返礼品は黒酢米程度であったが、現在は黒酢米と黒酢米からつくった吟醸酒セットやパブリックゴルフ場ひばりコースの平日利用券、しょうゆやしょうゆと調味料のセット等、せんべい、日本酒セットと、市内産品等からメニューを増やしている。



桜が終わった利根運河ではこいのぼりが風に揺らめいている

努力は努力だけで終わらせない 必ず実らせて安倍政治を終わらせる

新社会党は第 22 回定期全国大会を 22、23 日の両日、都内で開いた。政党来賓には従来の社民党だけでなく、共産党や自由党、緑の党の代表も参加してくれた（民進党はメッセージ）。

岡崎宏美新委員長（元衆議院議員）は「努力は努力だけで終わら

せない。そうしなければ周りの人に責任が取れません。いつでもスタートの時です」と力強くあいさつし、市民と野党の

共闘をさらに進める強い意欲を示した。

松枝佳宏前委員長は退任のあいさつで、大会が明るく、困難な闘いへの強い意思が感じられたと感想を述べた。この数年、病を押しての活動に心から感謝せ



挨拶する岡崎宏美委員長とその右は松枝佳宏前委員長



介護保険制度 劣化に次ぐ劣化 社会的介護の公約に背く

来年度からの介護保険計画に向けて、またもやサービス削減と負担増が強行されつつあり、すでに衆議院を通過した。

問題の一つに健康保険同様、近い将来誰でも利用料の 3 割負担をもくろみ、「一定所得以上の年金等収入者」は 3 割負担とする。現在の計画で 2 割負担が導入されたばかりだ。

また給付抑制に努めた自治体を財政優遇する仕組みを導入する。生活保護でいわれる水際作戦が介護でも行われる状況が生み出されようとしている。

そして美名を使う。地域共生社会には住民の助け合いが必要だとし、サービス提供を住民に肩代わりさせようとする。

同様に、障害福祉サービス提供事業所が介護サービスも提供できるようにする。そのことによって負担のない障害福祉を将来的に介護保険に統合し、負担を求めためるための布石と考えて間違いない。

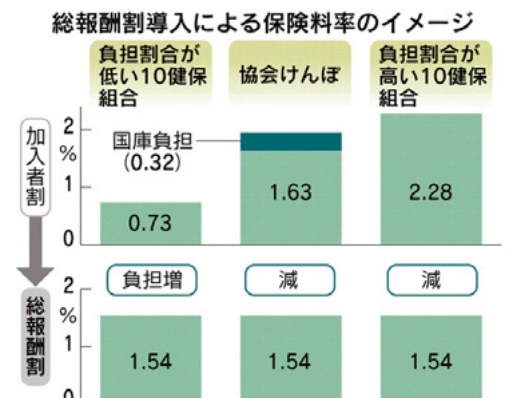
さらに国庫負担削減のために第 2 号被保険者（40～64 歳）の保険料を加入者数の割合から総報酬割（収入総額）に段階的に変える。これによって給与の高い健保組合の

負担にはいられなかった。長南博邦議員は引き続き書記長の任に当たる。

また、23 日は「全国共謀罪の日」として、各地で共謀罪反対の集会が開かれ、新社会党も大会会場で「共謀罪反対」と「憲法守れ」の掲示活動を行った。

会場の連合会館の前の通りには若々しい葉を広げ始めた大木が光を受けて輝いていたのが印象的だった。

負担が増える。ただ、協会けんぽは負担が減るが、その分国からの補助金がなくなる。とにかく国の負担を減らそうという意図である（日経電子版からの下記引用図参照）。社会的介護の建前は消え、制度不信は高まるばかりである。



（注）厚生労働省が2014年度実績に基づき試算。1人あたりの介護保険料負担割合の高い10健保組合と低い10健保組合。率はそれぞれの平均で労使合計